

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-1 子育て環境の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 青少年家庭課子ども・子育て支援室長 河原 賢 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	保育所等運営支援事業	
目的	(1) 対象	保育を必要とする児童及びその家庭
	(2) 意図	適切な保育が受けられるようにする
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が、子ども子育て支援法の規定により支弁する費用に係る県分を負担する。 ・保育所等における適切な保育の実践をはかるため、保育所等に対して、監査、指導を実施する。 ・保育所職員の資質、保育技術向上のための専門的研修を実施する。 ・保育士の人材確保のために、養成校卒業予定者を対象とした就職説明会、潜在保育士等の就職を支援する保育士・保育所支援センターの設置、保育士修学資金の貸付、保育士等の資格取得の支援等を行う。 ・保育士の登録を行う。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	保育所監査における文書指摘率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		64.00	58.00	53.00	52.00	
式・定義	文書により改善指導を行った保育所の数÷保育所監査を実施した保育所の数	実績値	63.60	56.80	39.80	33.80		%	
		達成率		111.30	131.40	63.80		%	
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,000,430	3,229,275
うち一般財源(千円)	2,929,529	3,145,056

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年10月1日現在
 保育所数：289箇所 入所児童数：22,983人 待機児童数：129人
 ・平成26年度、216保育所の監査を実施し、定期健康診断の確実な実施等、健康管理体制に関する指導を強化した。監査の結果、文書指摘をした保育所は73箇所、指摘内容は、衛生管理や防災対策の取り組みが不十分など、例年と同じ傾向にある。
 ・中堅職員研修、乳児保育推進研修等、技術力向上のための研修を実施。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

保育所の適正な運営の確保、職員の意欲の向上や児童の安全も確保した質の高い保育の提供につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・子ども・子育て支援新制度への理解が不足している。
 - ・質の高い保育を実施するためには人材確保が重要であるが、年度中途での保育士の採用あるいは過疎地域における保育士確保は難しい状況にある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・適正な保育を実施する上で、保育所運営に係る制度や補助要件に対する理解が不可欠であるが、まだ不十分な面がある。
 - ・子ども・子育て支援新制度への準備不足
 - ・雇用条件面のミスマッチ等から採用後数年での離職率が高い。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・的確な改善指導を実施するとともに、施設からの改善報告を確認し、適切な保育所運営につなげていく必要がある。
 - ・子ども・子育て支援新制度や各種補助金の補助要件を周知する必要がある。
 - ・質の高い人材を安定的に確保するため、新規採用職員から指導的職員向けの研修を階層別に体系化し、実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・新制度の理解促進を図るため、指導監査、研修等を通じて丁寧な情報提供を行う。
- ・児童の安全を守るため、防災計画の策定や具体的な取り組みについて今後も指導をしていく必要がある。
- ・研修の実施による保育士の定着や保育士人材確保の取り組みを継続する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）